学習·教育到達目標に到達するための授業科目の流れ(電気情報工学科→ESコース R6入学) 学習·教育 到達目標 電気情報工学科5年 電気情報工学科2年 電気情報工学科3年 電気情報工学科4年 前期後期 前期 微分積分 I A 微分積分 I B 微分積分 II A 微分積分 II B 微分積分 ii B 微分積分演習 応用解析 Ⅰ 応用解析 Ⅱ 基礎数学A 基礎数学B 応用数学IB 基礎数学演習A 基礎数学演習B 線形代数A 線形代数B 応用数学ⅡB 物理IA 物理IB 物理IB 物理IB 物理II 物理II → 物理II → 物理II → 物理II 近代物理学 ライフ&アースサイエンスA → ライフ&アースサイエンスB (A) 電気磁気学Ⅰ ■ 電気磁気学Ⅱ ■ 電気磁気学Ⅲ 先端材料工学エネルギー工学 電気基礎 | ★ 電気回路 | ★ 交流回路 I | 交流回路 I | 大パジタル回路 | ★ 回路理論 システム設計学 電気情報概論 情報基礎 メディアリテラシー ► C言語 ★情報理論 電気磁気学Ⅰ 電気磁気学Ⅱ ■磁気応用工学 流体工学特論 メディアリテラシー 情報数学 電気機器 過渡現象論 電気基礎 電気回路 交流回路 Ⅰ エネルギー工学Ⅱ 交流回路Ⅱ (B) アナログ信号処理 → 制御工学 Ⅰ 制御工学 Ⅰ ● 電子工学 II 電子工学 I 半導体工学 通信工学 伝送工学 映像メディア工学 ネットワーク論 オペレーティングシステム (C) インターンシップ インターンシップ 物理IA 物理IB 物理ⅡA 物理ⅡB 化学IB 電気情報工学実験ⅠⅠ→・電気情報工学実験ⅡⅠ→・電気情報工学実験ⅡⅠ→・電気情報工学実験ⅡⅠ→・電気情報工学実験ⅢⅠ→・電気情報工学実験ⅢⅠ→・電気情報工学実験ⅡⅠ 特別演習 (D) 同路実習 プログラミング実習 保健体育I 保健体育Ⅱ 保健体育皿 保健体育Ⅳ 保健体育Ⅴ 現代文B → 総合国語 I A 総合国語 I B 総合国語 I B 古典A 人文特論 I A(2) 人文特論 I B3 日本文化論 科学と社会 技術者倫理 歴史総合A → 歴史総合B → 公共A → 公共B → 人間論 現代社会 哲学 人文特論ⅡA② 人文特論 II B③ (E) 法学 人文特論ⅢA② 人文特論ⅢB③ 人文特論IVA② 人文特論IVB③ 総合英語 I A 総合英語 I B 総合英語 II A 総合英語 II B 総合英語 II A 総合英語IIB 総合英語IVA 総合英語IVB 総合英語V 英語演習Ⅰ → 英語演習Ⅱ 芸術A 芸術B 日本語B 日本語A 日本語C → 日本語D → 日本語E 日本語F 科学と社会 技術者倫理 環境工学特論 公共A 公共B → 人間論 現代社会 哲学 (F) 防災リテラシー 電気情報工学実験ⅢⅠ ■気情報工学実験ⅢⅠ ■気情報工学実験ⅢⅠ ■気情報工学実験ⅣⅠ (G) プログラミング実習 データ構造とアルゴリズム 情報システム論 論理回路 ネットワークシステム論 ディジタル信号処理 通信工学 ネットワーク論 オペレーティングシステム

電気情報工学実験ⅢⅠ 電気情報工学実験ⅢB 電気情報工学実験ⅢⅠ 電気情報工学実験ⅢB

● 創造工学

(I)

学習·教育到達目標

P14

- (A) 自然科学と工学の基礎を身につける。
- (B) 専門分野の基礎知識を修得し、技術の実践に応用できる。
- (C) 修得した知識を統合し、製品やシステムを考案できる。 (D) 実験・実習・演習により現象の理解を深め、実践力を身につける
- (E) 技術者に必要な人間性、国際性、協調性及び英語による基礎的なコミュニケーション
- 能力を対し、力であ。 (F) 技術が自然や社会に与える影響を理解し、技術者としての倫理観を身につける。
- (G) 課題の提案・報告などを適切にまとめ、発表できる。
- (H) コンピュータを技術の実践に活用できる。
- (1) 責任を自覚し、互いに協力し合い、チームの目的達成に貢献できる。

声政科

特別演習

(i)高度な数学の知識と幅広い工学の基礎知識を修得し、専門分野に応用することができ

(ii)電気電子工学分野の深い学識を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる

iii)電気電子工学分野の応用的な実験を遂行・分析することができ、実習・演習により修

(iv.) 修得した人文・社会科学の知識により広い視野と国際感覚を持ち、技術者として倫理 的に行動することができる。

(v)技術者としての実践力、協働力を身につけ、地域、社会等の課題の発見と解決に対して、修得した知識・技術を融合して創造的に取り組むことができる。また、その成果を発表で、